



開物成務

コロナ禍においても大切なもの

1月26日(火)から3日間、運営委員会の子もたちが赤い羽根の募金活動を行ってくれました。「お年寄りのために」「子どもたちのために」「みんなが住んでいる地域のために」「困っている人のために」と、朝、昇降口に立って募金を呼びかけました。

募金をする子どもたちからは、こんな会話が聞こえてきました。「募金をした?」「わたしは募金をするよ!」子どものやさしさが伝わってきてうれしくなりました。ありがとう!毎日、子どもたちに接していると、その姿、心に胸を熱くする瞬間がありますがこの時もそうでした。また、募金を校長へ直接お渡しいただいた保護者の方もいらっしゃいました。ありがとうございました。

今、コロナ禍において、助け合いの心の大切さをこれまで以上に感じます。みなさんで助け合い、励まし合い、このコロナ禍を乗り越えていきましょう。

コロナ禍にあっても変わらないもの

1月27日(水)から3日間の予定でなわとび記録会を行いました。

コロナ禍にあり、種目を減らしたり応援を拍手で行ったり、参観を希望された保護者の方には、健康観察記録表の提出をいただいたりと、例年とは違うことが多々ありましたが、変わらないものは、子どもたちのがんばりです。自己記録をめざしてがんばった子どもたちみんなに、大きな拍手を送りたいと思います。そして、変わらないもののもう一つは保護者の皆様のご理解、ご協力です。あらためて感謝申し上げます。開成小学校は、保護者、地域の方々に支えられ、すてきな子どもたちが先生方とともにがんばるすてきな学び舎です。

冬期間の安全な登下校・交通安全について

積雪そして凍結により心配なのが、交通事故です。

◎朝、ポケットに手を入れて歩く姿を見かけます。転倒した際に、手が出ず、顔を強打する危険性があります。「手袋」を着用するよう指導しています。

◎登校時、走る姿を見かけることがあります。友達と追いかけてっこをしている時もあります。「転倒の危険性」「とび出しの危険性」があり、その都度「走らないこと」を指導しています。また、雪遊びをしている姿を見かけることもあります。登下校中や道路で雪遊びをしないように指導しています。

◎決められた通学路を守っているでしょうか。近道をしたり、友達の家によったりしてはいないでしょうか。安全な通学路を登校するよう指導しています。(歩道橋等、凍結の危険性があり、冬期間、通学路を変えている方部もあります。そのような場合は、学校までお知らせいただいています。)

◎事故防止の大事なポイントは、「安全な横断・とび出しをしないこと」です。横断する際は「必ず止まって右・左・右」の安全確認を指導しています。

☆学校と家庭で指導を繰り返すことが事故防止につながります。ご家庭でもお子さんの状況を確認していただき、事故に遭わぬように声かけをお願いします。

学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

過日実施いたしました学校評価アンケートの結果(裏面)をお知らせいたします。例年通りとはいかないことが多々ありましたが、新型コロナウイルス感染症対策を講じ、保護者の皆様のご理解、ご協力をいただきながら、子どもたちのために教育活動を工夫して実施して参りました。アンケート結果につきましては、今後の教育活動に生かして参ります。お忙しい中、ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。